

令和7年度穴水町地域包括支援センター運営協議会 議事録

日時：令和8年3月17日（火）15：00開催 役場

場所：穴水町役場 101会議室

質疑応答

大家委員：17ページのセンター指標。全国や県より大きく下回った「組織・運営体制」50%の内容は？

大澤：質問項目に対しての取り組みの回答。前年度運営協議会を開催できなかった。等の理由で評価項目に回答できなかった。

宮崎委員：そもそもどこからの評価？

大澤：調査元は厚生労働省。全国一斉に包括が回答している。

宮本委員：18ページ。色付き網掛けは何を意味している？わかりにくい網掛けなら外せばどうか？

大澤：地域支援事業の申請をさせていただく際のおおもとの資料。

宮本委員：14ページ資料2。この事業費は18ページのどこにリンクしているのか？
所管課だけが分かる資料。

笹谷課長：14ページの合計は18ページの所々を合計した金額となっています。

新谷委員：19ページフレイル予防の教室等。利用者の固定化に対する具体策は？

久保田：チラシには新規優先と記載させていただく。既利用者は他を案内。これまで広報でチラシのみという案内をさせていただいていたが……。ハイリスクアプローでの健康状態不明者にアプローチも検討したい。

島中院長：糖尿病腎症は穴水病院でも取り組んでいる。ぜひ受診いただくよう。

宮本委員：4ページ。3）警察等の……。警察とはどのような関わりをする？

大澤：虐待、徘徊、認知症疑い等・

宮本委員：6ページ。利用者満足の項目で、夜間休日災害時の連絡体制は？

大澤：整備されています。

笹谷：災害発生時も連携を取り、対応いたしました。

次年度計画

宮本：上から４段目に（新）とあるが

大澤：住民主体の教室。毎年（新）で上げさせていただいているが、核になる人材がいないため、実施にいたっていない。

谷口：新規事業所の相談はあるか？

包括：今のところなし。

谷口：権利擁護。成年後見、法改正が行われる可能性がある。その際は情報共有を。

大澤：承知しました。情報共有します。

大島：１８ページに金額的に突出している金額があるがその要因は？

大澤：日常生活総合事業。県からのシュミレーションにて算出。通所が増加と見込まれたため、増額予算とした。それに伴い、ケアマネジメント費用も増額となっている。７年度から会計年度で主任ケアマネに来てもらっているのでその人件費も上乘せとなっている。

宮本委員：運営要綱は付けていただくとよい。

15:43 包括終了。

15:45～初期集中チーム。

新谷：３ページ。上から７行目。認知症ケアパスとはどのような物でどのような活用をしているのか？

岩野：認知症の段階ごとにどのような関わりをすればよいか？どのような支援をすればよいかまとめたもの。

新谷：

岩野：認知症支援推進員は包括の職員が中心。

新谷：ステップアップ講座は？具体的に 認知症であるということを表明するのは大変。

岩野：

島中：認知症の診断は難しい。検査機器は奥能登４病院では穴水病院のみ。治る認知症に対し、簡単に処方されている。

宮本：2 ページ。5 番。人工透析とあるが、これはなに？

岩野：人工透析している方で認知症となったケース。

大島：2 ページの表。男女比はどうなっているのか？

岩野：夫婦であがっている方もいる。

笹谷：1 ページの表 2。2 ページとは一致していないが、7 年度は男性 8 名、情勢 5 名と、若干男性が多い。認知症と言っていない方もいると思われるので、支援に努めたい。

島中：あと 20 年位すると認知症は減る。大学を出ている人達が増える。

谷口：資料 4 ページ。見守り SOS ネット。協力事業所の一例

大澤：新聞、ガス、介護事業所等

谷口：チームオレンジとは？

岩野：住民に方が主体的に認知症の方の見守りができるよう先日開催させていただいた。

新谷：徘徊模擬訓練。大変大規模となると思われる。実施までが大変。実施すると理解が深まる。期待しています。

宮本：相談に来る人は楽しい話ではない。人に聞かれたくない。個室は？

笹谷：とりあえず窓口、自宅訪問。会議室が空いていれば使う。やりにくいね。

大島：SOS 登録機関。現在どれくらい登録されている？

久保田：令和 7 年度で 13 事業所。

16:07 終了。